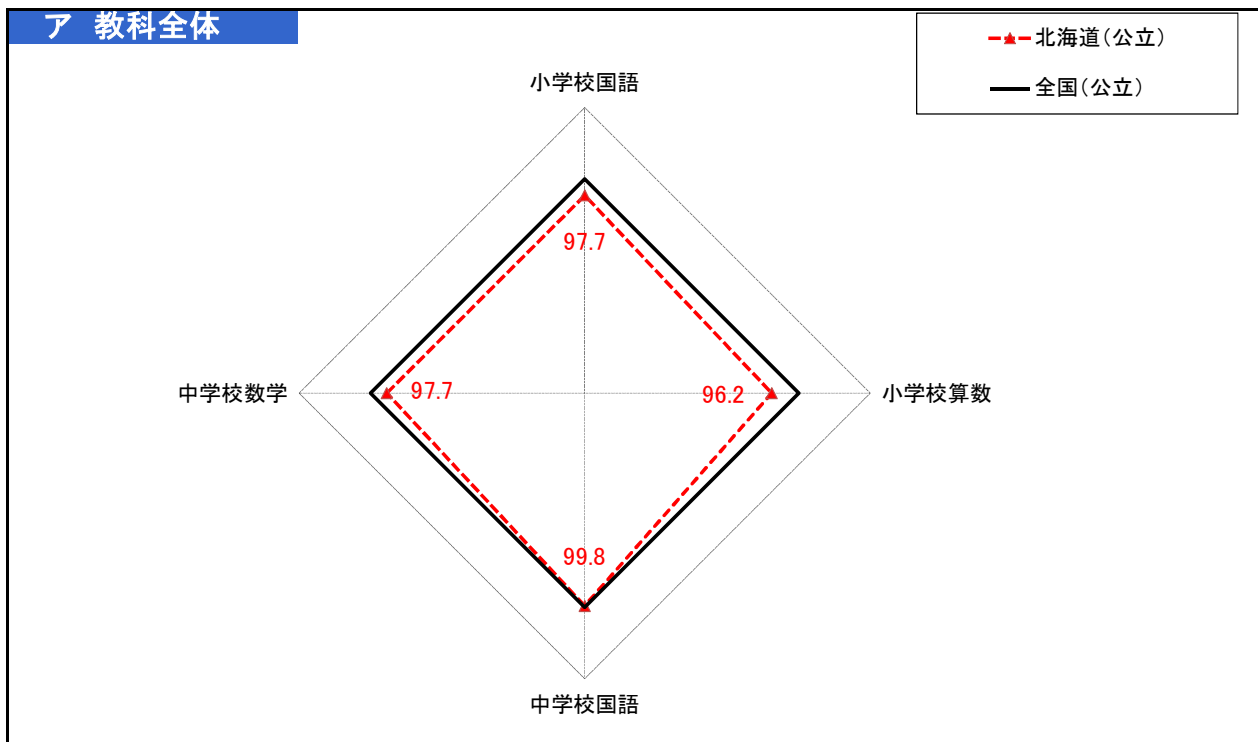


## 2 調査結果のレーダーチャート図

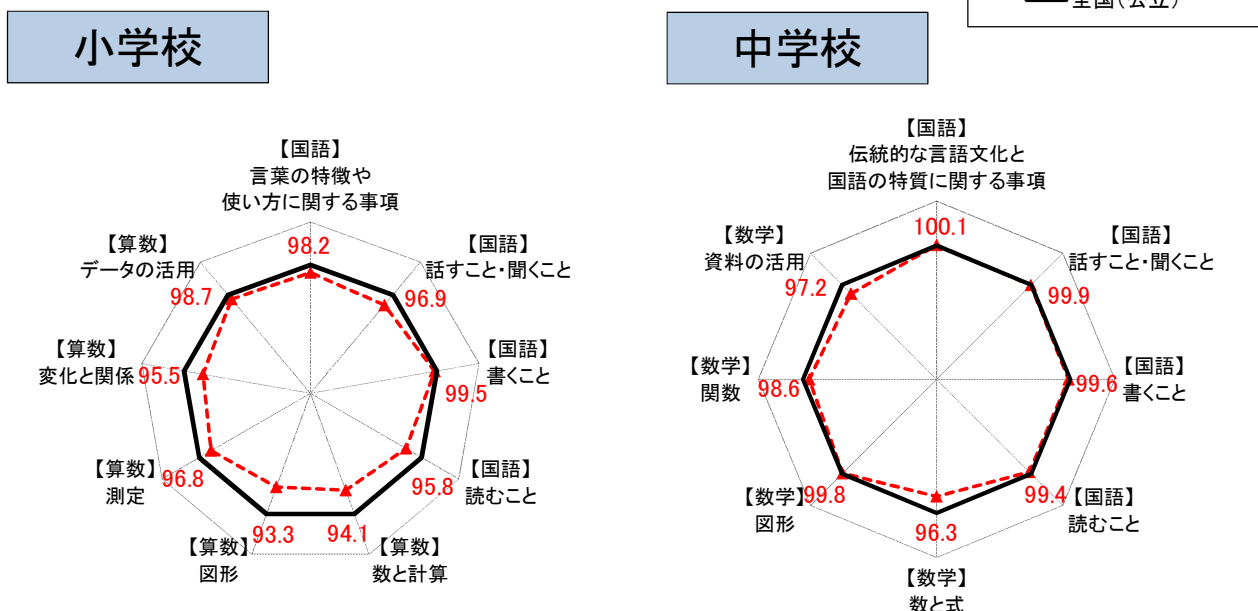
教科に関する調査における本道の結果について、レーダーチャートによる全国との比較を示しています。また、質問紙調査における本道の結果について、特徴が見られる項目を取り上げ、同様に示しています。

### (1) 小・中学校全教科



◆全ての教科で、全国の平均を下回っており、小学校算数において全国との差が大きい。

### イ 学習指導要領の内容・領域等



◆小学校では、算数の内容・領域等は、国語の内容・領域等に比べて全国との差が大きい傾向が見られる。

◆中学校国語の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が、全国の平均を上回っている。

※ 小学校国語「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」については、対象設問がないため、表示していない。

※ 数値は、「それぞれの平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100」で算出。

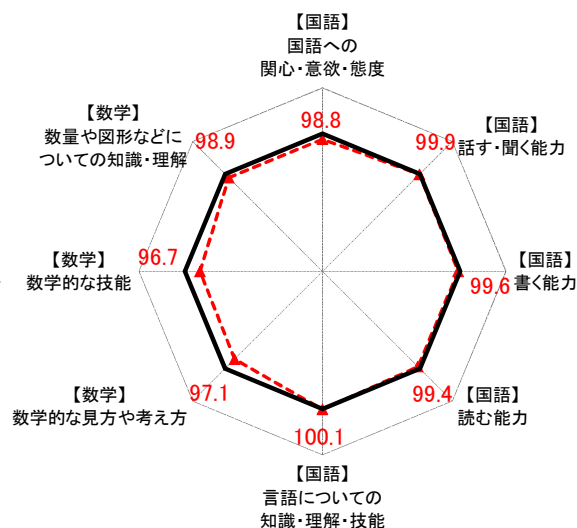
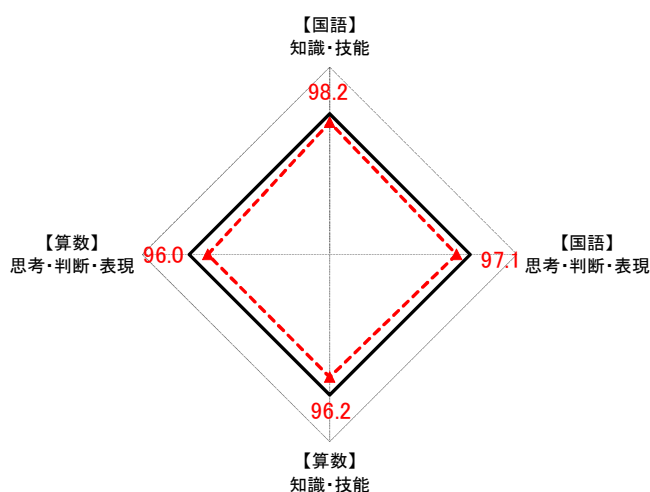
## ウ 評価の観点

### 小学校

### 中学校

—▲— 北海道(公立)

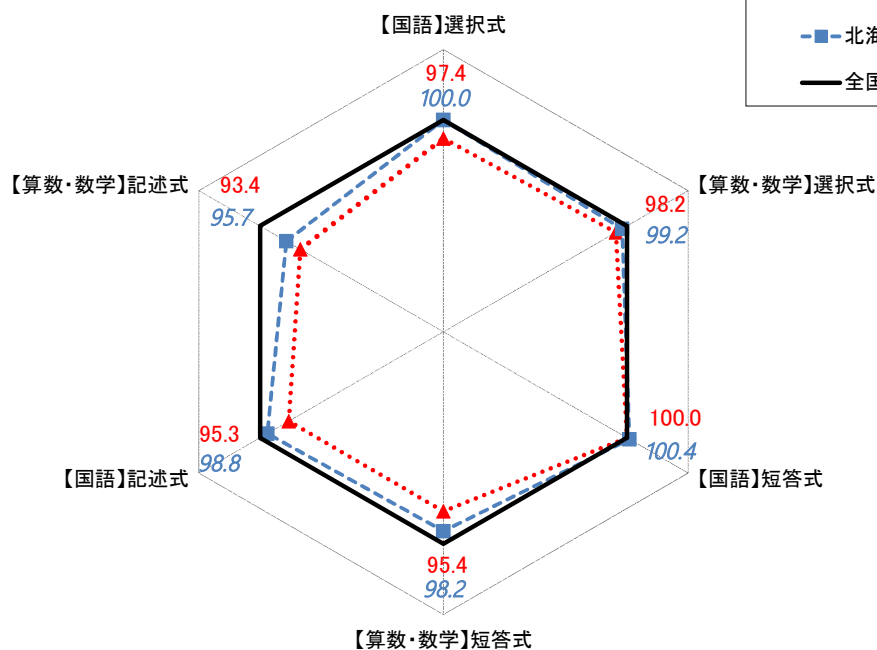
—— 全国(公立)



- ◆中学校国語の「言語についての知識・理解・技能」が、全国の平均を上回っている。
- ◆小学校算数の「思考・判断・表現」が、全国の平均を下回っており、他の評価の観点に比べて全国との差が大きい。

## エ 問題形式

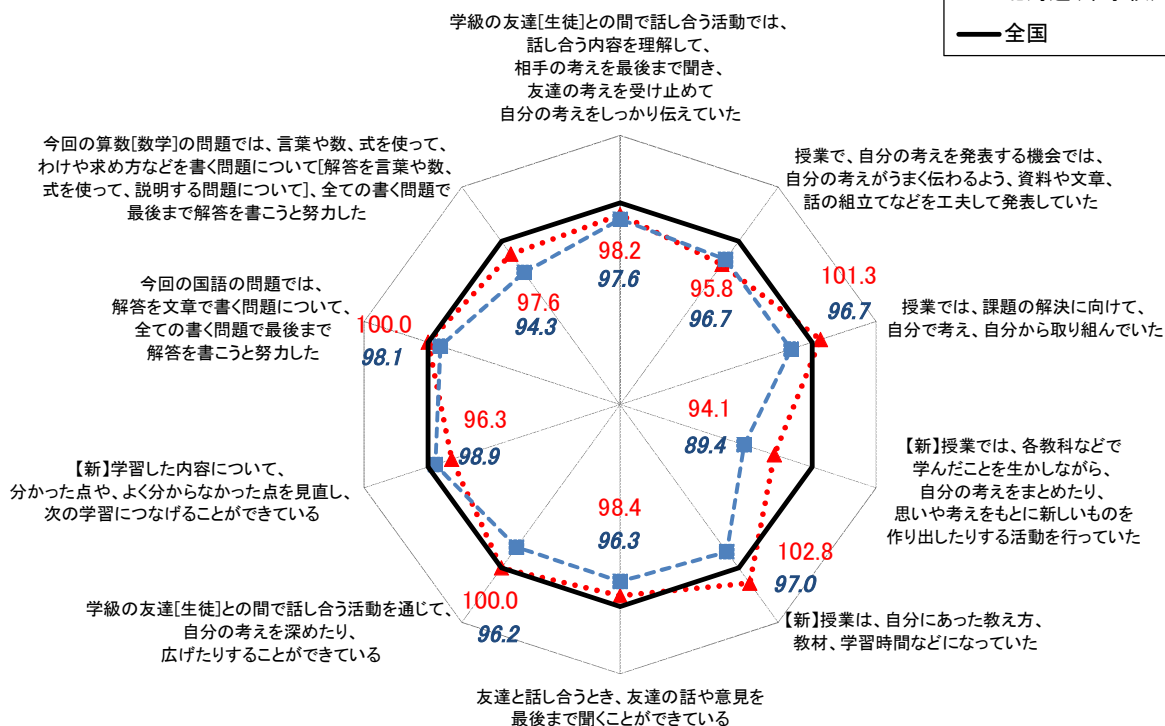
※中学校の数値は「斜体」



- ◆全ての教科で「記述式」の問題形式が、全国の平均を下回っており、他の問題形式に比べて全国との差が大きい傾向が見られる。

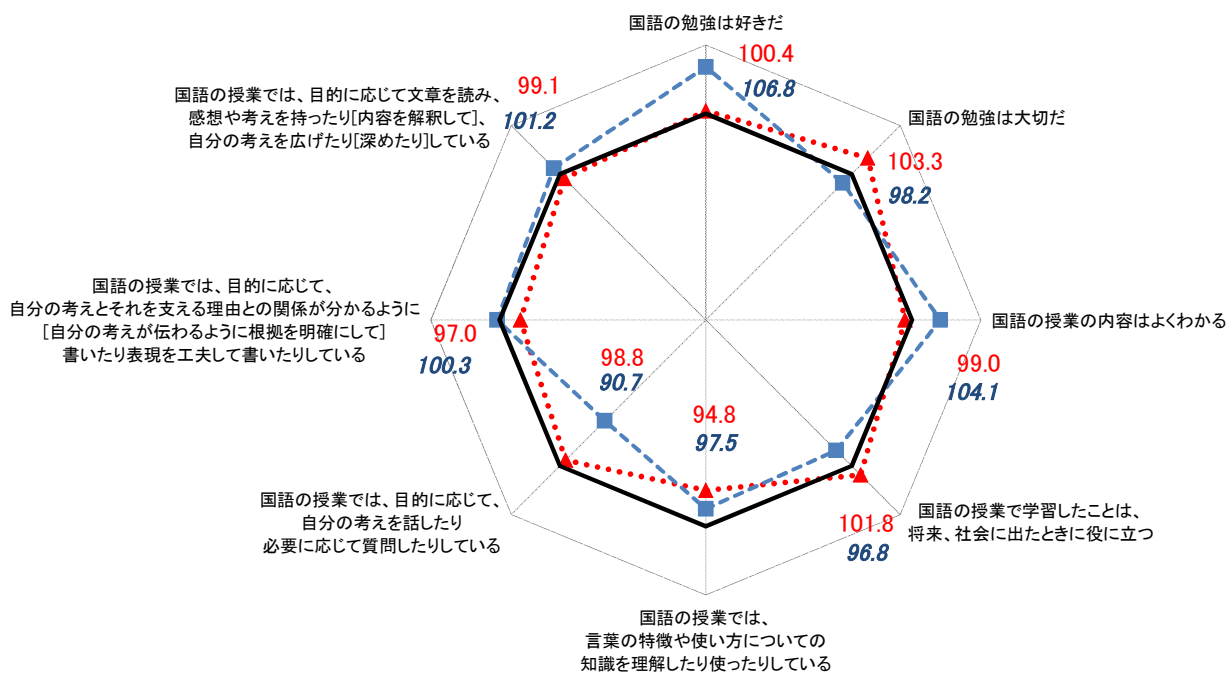
- ※ 小学校国語「主体的に学習に取り組む態度」については、対象設問がないため、表示していない。
- ※ 小学校算数「主体的に学習に取り組む態度」については、対象設問がないため、表示していない。
- ※ 中学校数学「数学への関心・意欲・態度」については、対象設問がないため、表示していない。
- ※ 数値は、「それぞれの平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100」で算出。

## ア 学習意欲



◆全ての書く問題で「最後まで解答を書こうと努力した」と回答した児童生徒の割合が、全国の平均を下回る傾向があり、特に、算数・数学において全国との差が大きい。

## イ 国語の学習



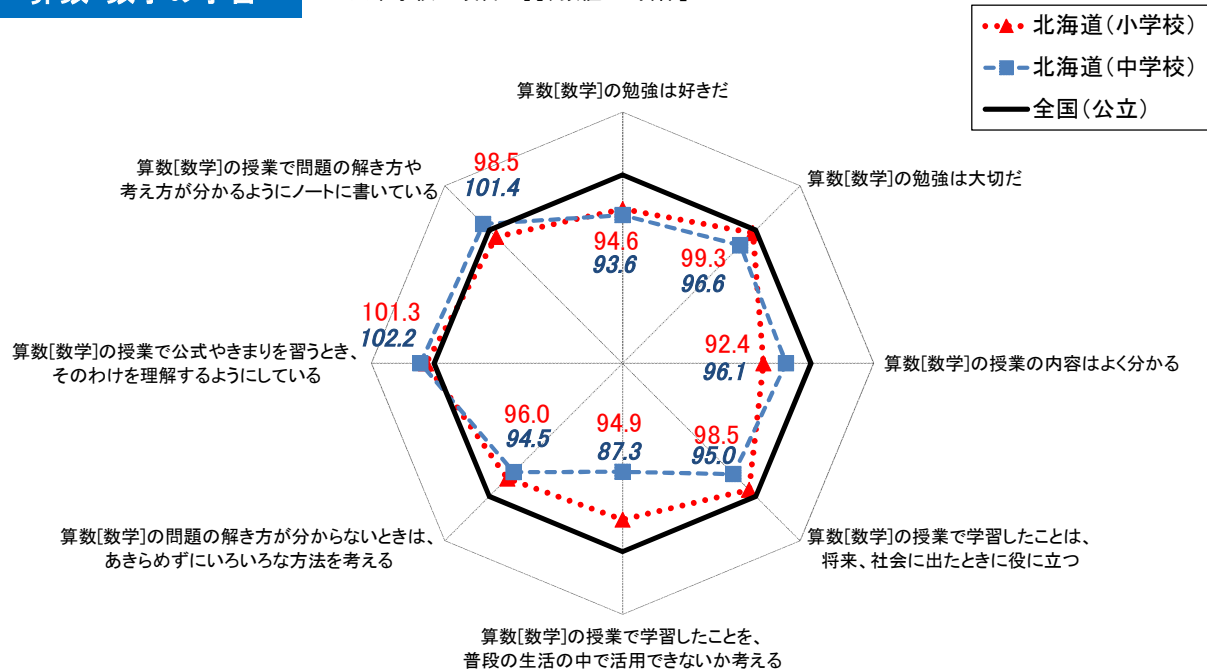
◆「国語の勉強が好きだ」と回答した児童生徒の割合が、全国の平均を上回っている。

※【新】と記載しているものは、今年度の新規項目。

※数値は、「それぞれの児童生徒の割合÷全国(公立)の児童生徒の割合×100」で算出。

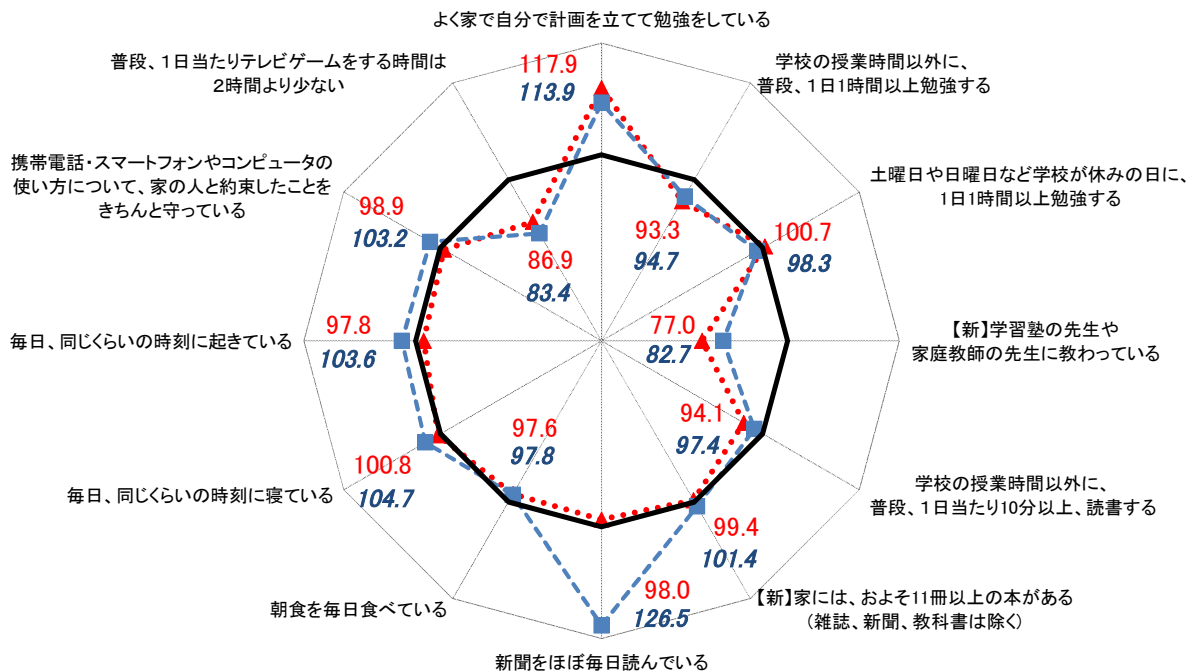
## ウ 算数・数学の学習

※中学校の項目は[ ], 数値は「斜体」



◆「算数[数学]の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える」と回答した児童生徒の割合が、全国の平均を下回っている。

## エ 学習習慣、生活習慣



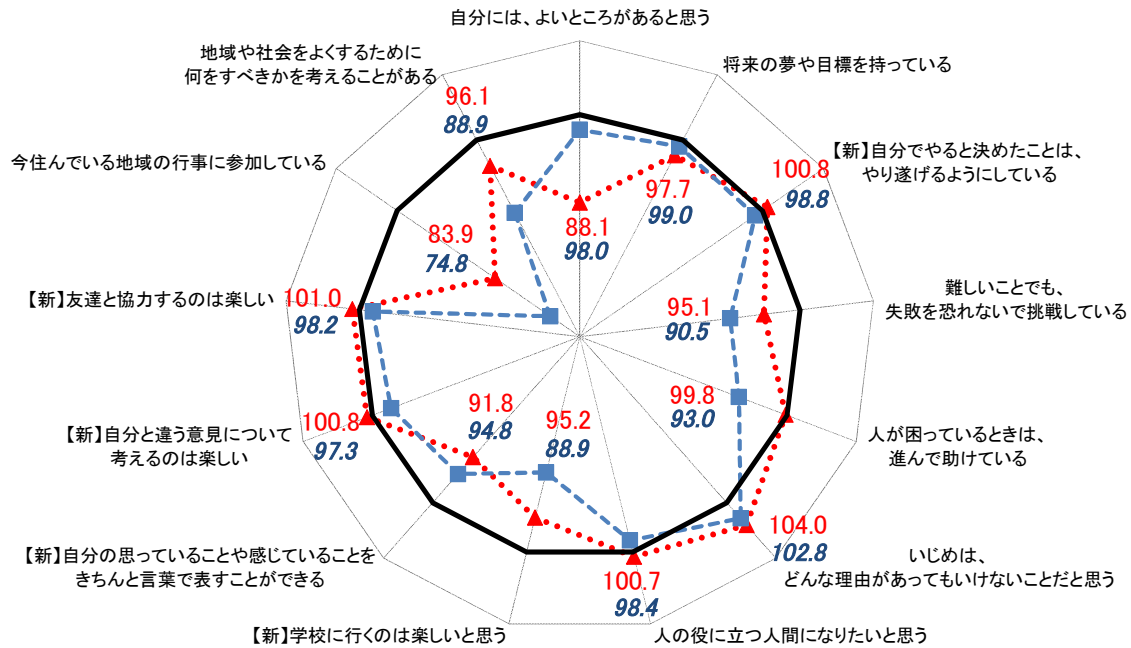
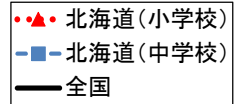
- ◆家で計画を立てて勉強していると回答した児童生徒の割合が、全国の平均を上回っている。
- ◆学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていると回答した児童生徒の割合が、全国の平均を下回っており、差が大きい。
- ◆普段、1日当たりテレビゲームをする時間が2時間より少ないと回答した児童生徒の割合が、全国の平均を下回っており、差が大きい。

※ 【新】と記載しているものは、今年度の新規項目。

※ 数値は、「それぞれの児童生徒の割合÷全国(公立)の児童生徒の割合×100」で算出。

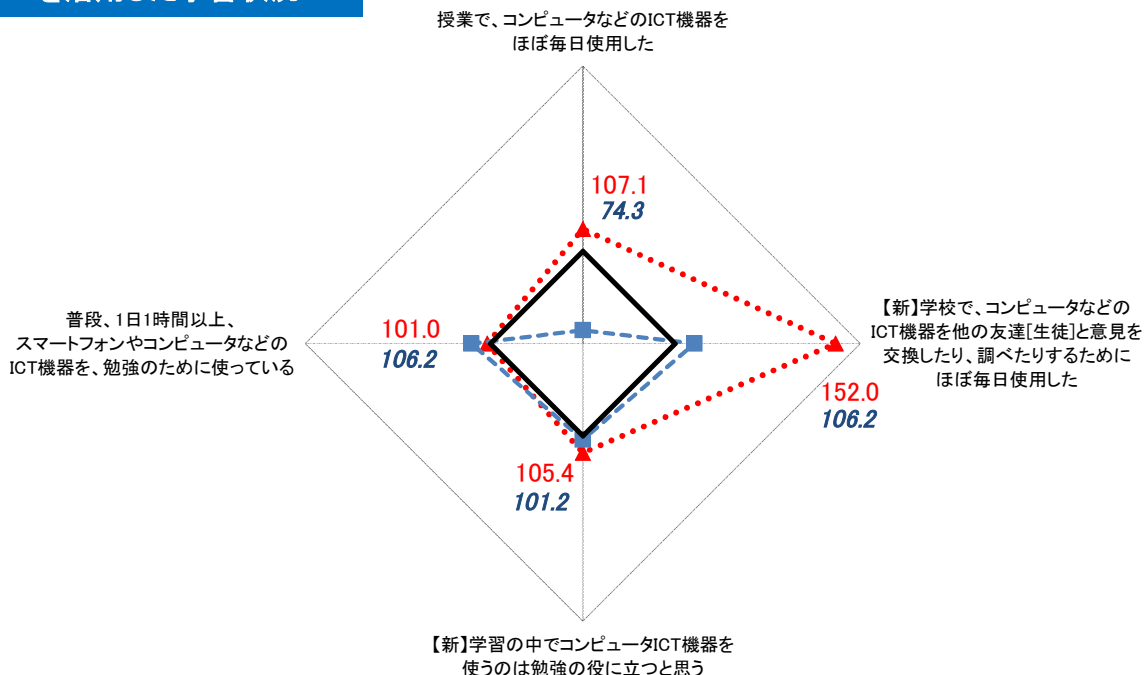
## オ 自尊意識、規範意識、地域社会等

※中学校の項目は[ ], 数値は「斜体」



- ◆いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うと回答した児童生徒の割合が、全国の平均を上回っている。
- ◆自分には、よいところがあると思うと回答した児童生徒の割合が、全国の平均を下回っており、特に小学校において全国との差が大きい。
- ◆学校に行くのは楽しいと思うと回答した児童生徒の割合が、全国の平均を下回っており、特に中学校において全国との差が大きい。
- ◆今住んでいる地域の行事に参加していると回答した児童生徒の割合が全国の平均より低く、小学校、中学校ともに差が大きい。

## カ ICTを活用した学習状況



- ◆学校で、コンピュータなどのICT機器を他の友達[生徒]と意見を交換したり、調べたりするためにほぼ毎日使用したと回答した児童生徒の割合が、全国の平均を上回っており、特に小学校で割合が高い。

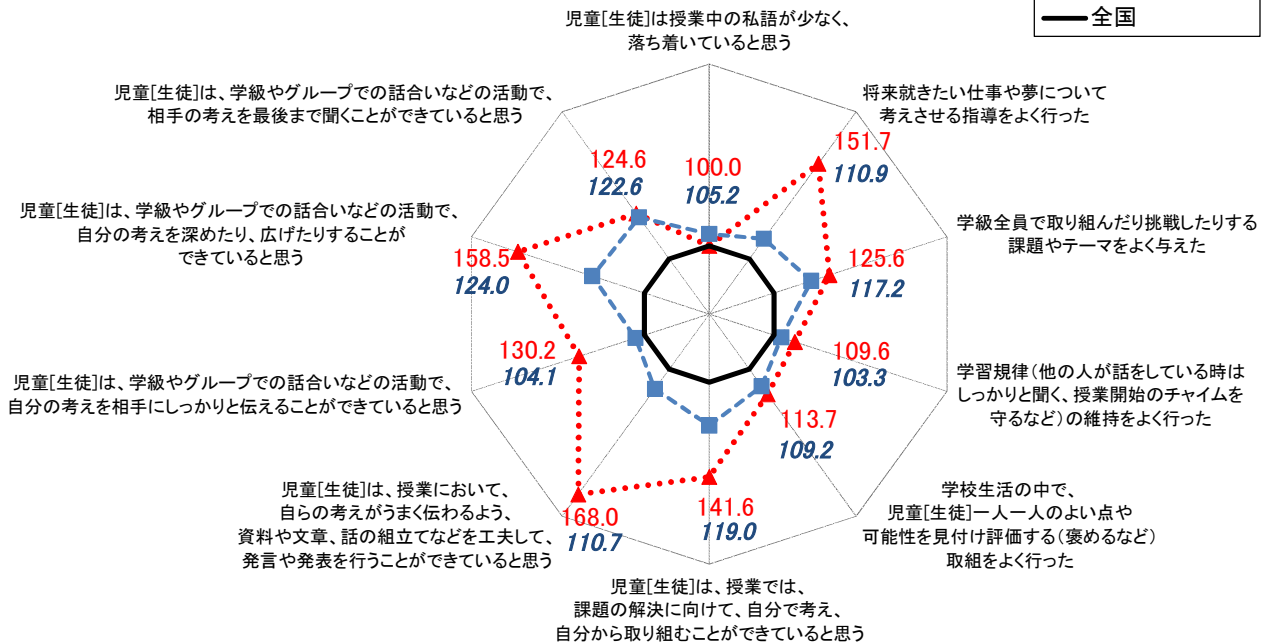
※ 【新】と記載しているものは、今年度の新規項目。  
※ 数値は、「それぞれの児童生徒の割合÷全国（公立）の児童生徒の割合×100」で算出。

### (3) 小・中学校・学校質問紙調査

※中学校の項目は[ ], 数値は「斜体」

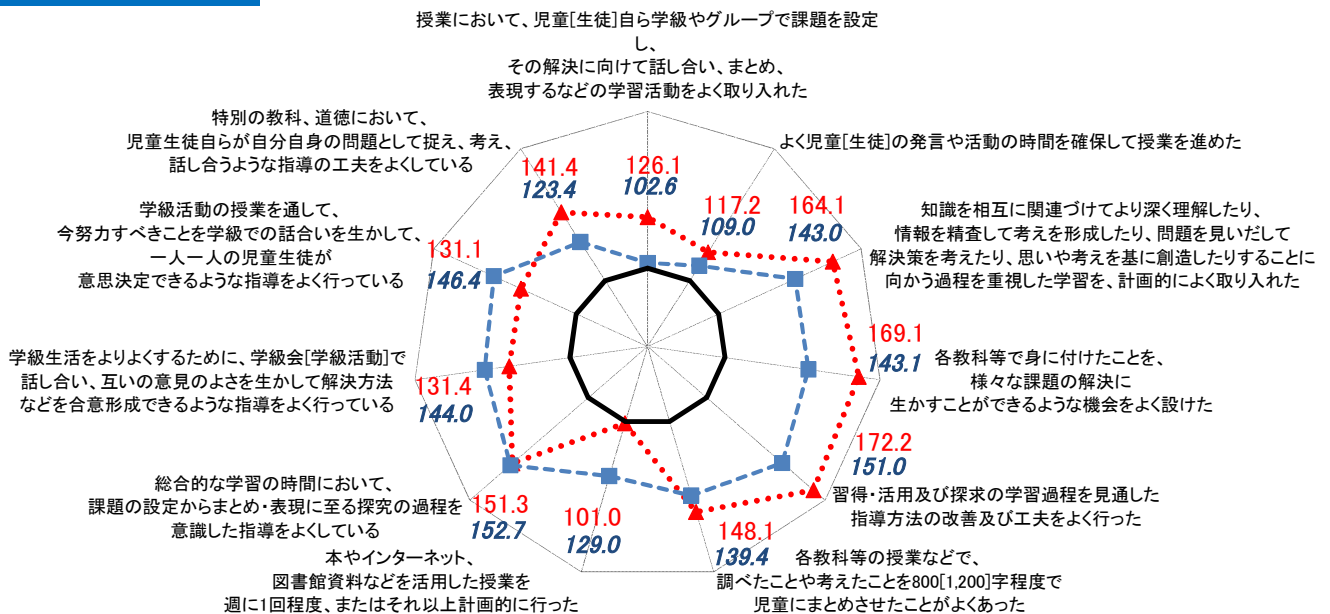
#### ア 指導方法①

●▲ 北海道(小学校)  
■ 北海道(中学校)  
— 全国



◆指導方法①に関する全ての質問項目において、全国の平均を上回っており、特に小学校の「話し合い」や「発表」に関する項目で割合が高い。

#### イ 指導方法②



◆指導方法②に関する全ての質問項目において、全国の平均を上回っており、特に習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行ったと回答した学校の割合が高い。

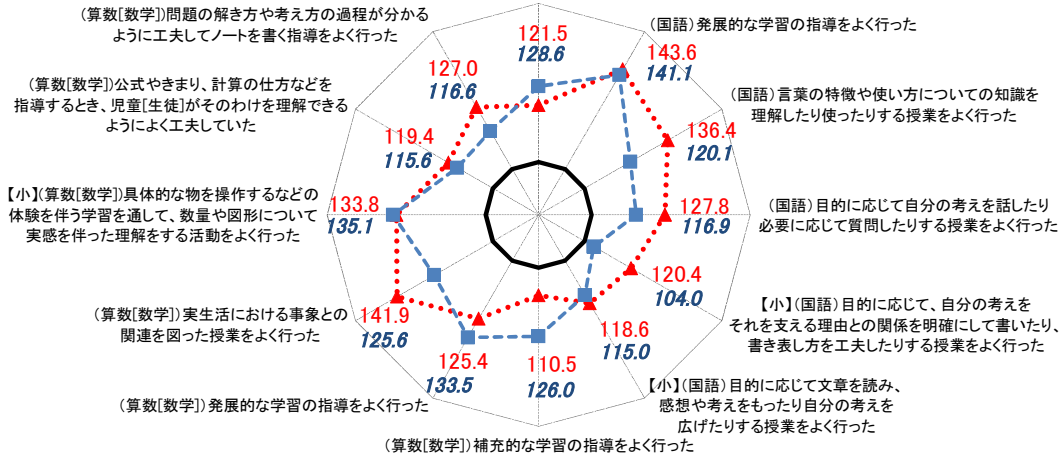
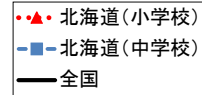
※ 【新】と記載しているものは、今年度の新規項目。

※ 数値は、「それぞれの学校の割合÷全国（公立）の学校の割合×100」で算出。

## ウ 国語、算数の指導方法

※中学校の項目は[ ], 数値は「斜体」

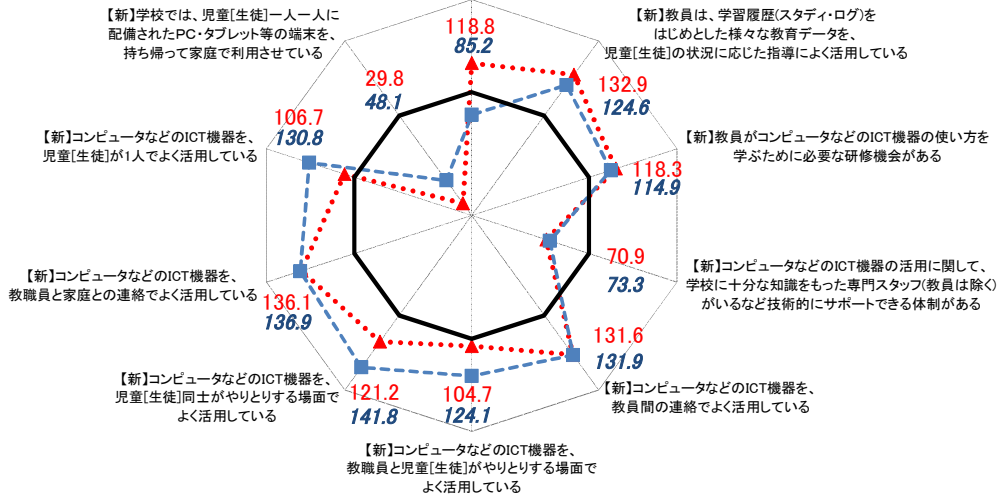
(国語)補充的な学習の指導をよく行った



◆国語、算数・数学の指導方法に関する全ての質問項目において、全国の平均を上回っており、特に発展的な学習の指導をよく行ったと回答した学校の割合が高い。

## エ ICTを活用した学習状況

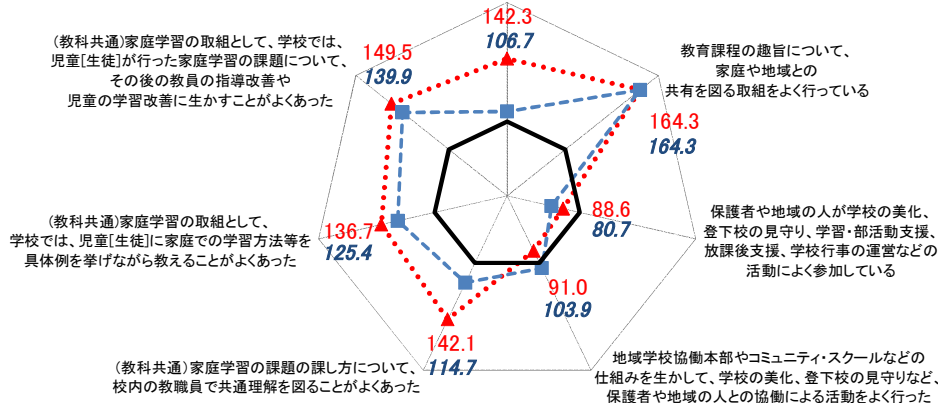
教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICT機器を活用した授業を、1クラス当たりほぼ毎日行った



◆学校では、児童[生徒]一人一人に配備されたPC・タブレット等の端末を、持ち帰って家庭で利用させていると回答した学校の割合が、全国を下回っており、差が大きい。

## オ 家庭学習、地域との連携

職場見学や職場体験活動を行っている



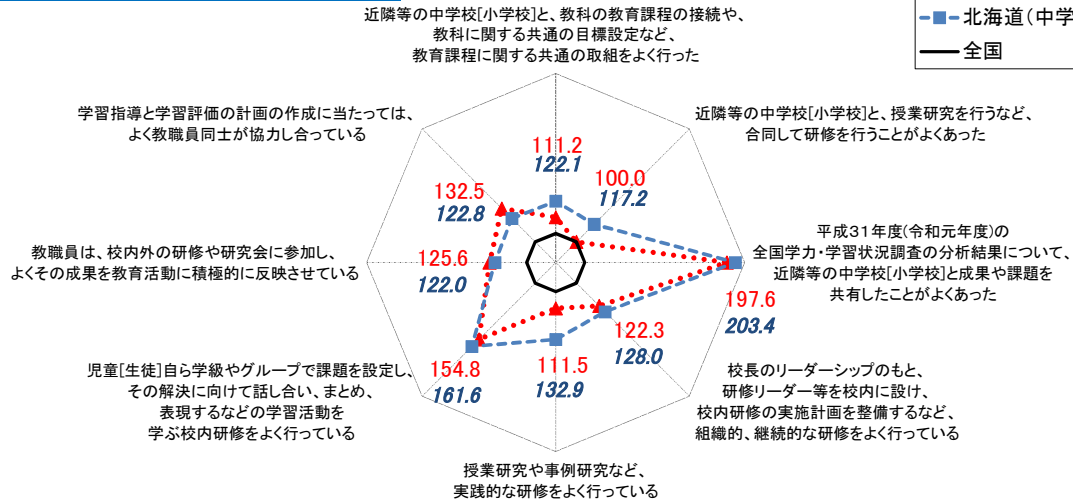
◆教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組をよく行っていると回答した学校の割合が、全国を上回っている。

※ 項目は一部省略している。  
※ 【新】と記載しているものは、今年度の新規項目。  
※ 【小】と記載しているものは、小学校に質問紙の内容のみ記載している。  
※ 数値は、「それぞれの学校の割合÷全国(公立)の学校の割合×100」で算出。

## カ 小中連携、教職員の資質向上

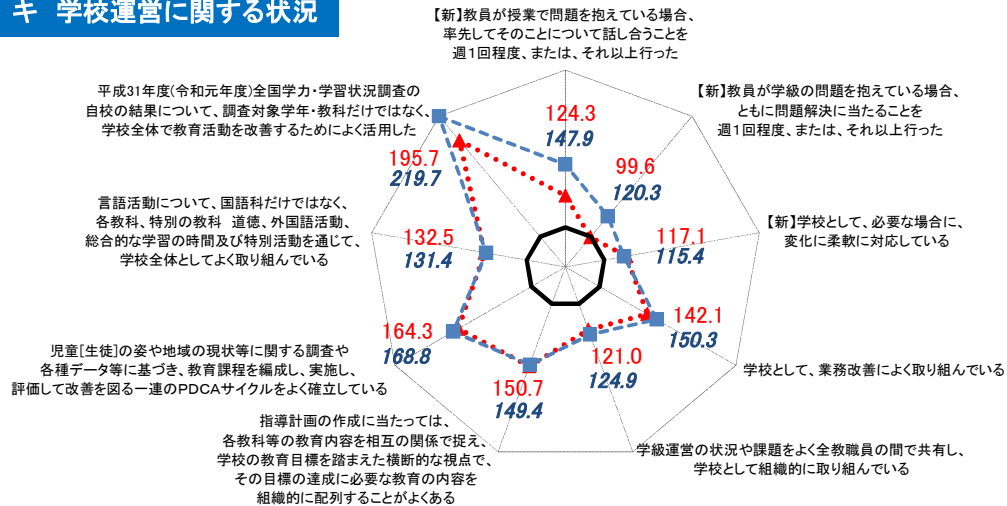
※中学校の項目は[ ], 数値は「斜体」

●▲● 北海道(小学校)  
■ ■ ■ 北海道(中学校)  
— 全国



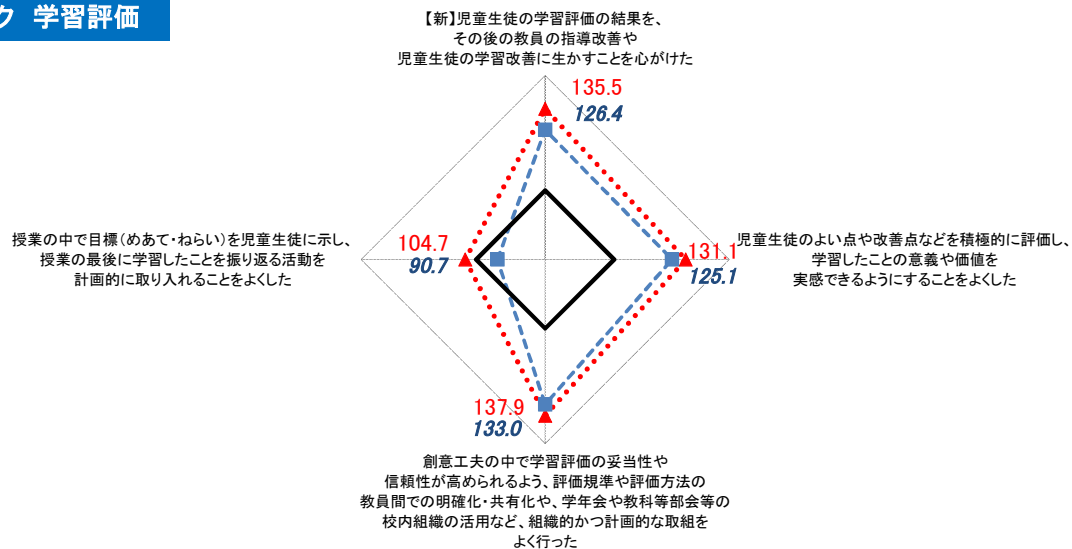
◆全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣の中学校〔小学校〕と成果や課題を共有したことがよくあったと回答した学校の割合が、全国を上回っている。

## キ 学校運営に関する状況



◆全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するためによく活用したと回答した学校の割合が、全国の平均を上回っている。

## ク 学習評価



◆評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用など、組織的かつ計画的な取組をよく行ったと回答した学校の割合が、全国を上回っている。

※ 項目は一部省略している。  
 ※ 【新】と記載しているものは、今年度の新規項目。  
 ※ 数値は、「それぞれの学校の割合÷全国(公立)の学校の割合×100」で算出。